

進路指導部通信

県立高等特別支援学校

進路指導部

2022.12.23 NO.7



今年も残りわずかとなりました。

年末から年始にかけて、クリスマスにお正月と楽しいイベントが続きます。最近はコロナ禍による制限も緩和され、「3年ぶりに」という言葉がよく使われ日常が戻ってきている感がある一方、「第8波」と呼ばれる感染拡大傾向にあるのも事実です。感染対策はしっかりと行いつつ、年末年始ならではの楽しみを味わいながらしっかり充電して新年を迎えて欲しいと思います。

進路相談について

3学期の1,2年生の大きな進路行事として進路相談があります。1年生は卒業式、2年生は文化祭終了後から実施します。



1年生は、進路指導部職員と生徒本人の二者での相談となります。どんな仕事をしたいか、どんな企業に就職するかではなく、働く人間になるための学校や家庭での生活を振り返り、今後に活かしていくような内容となります。

入学後のオリエンテーションで「自転車理論」「自動車理論」という話をしました。その内容は何だったか、自分はどこまでできているか、これまでの取り組みについて振り返っておいて欲しいと思います。



2年生は生徒本人と保護者・担任・進路指導部職員との四者での相談となります。学校や家庭での生活の様子の振り返りはもちろんですが、2年生では卒業後の具体的な進路の方向（進路先）を確認していくことが中心となります。「まだ2年生」とピンとこないかもしれませんが、雇用率の引き上げや企業の理解が進み、

結合実習の時期は早くなる傾向にあります。個人懇談の際に学級担任の方から進路希望調査用紙と参考資料の方が配布されているかと思います。この冬休み中に進路について話し合っていていただき、年明け最初の登校日に提出していただきますようお願いいたします。その際には進路希望のみならず、自分自身と向き合って自分の長所・短所を理解し、自分の言葉で進路希望と合わせて伝えることができるようにして欲しいと思います。

3年生の状況について

学年全体で動く1，2年生の現場実習と違い、3年生の結合実習は一人一人の時期はバラバラで、内定をいただいてすでに進路先が決まっている人、実習のお話を待っている人、実習を控えている人、実習を終えて結果を待っている人、などおかれている状況は人それぞれです。コロナ禍の中ではありますが、結合実習の受け入れ先に関してはそんなに困ることなく、比較的順調に進んでいるという印象を受けています。

まだ決まっていない人は焦る気持ちもあるかもしれませんが、自分のやることをしっかりとやりつつ、いつ実習のお話があっても大丈夫なように日常生活を送るようにして欲しいと思います。

決まっている人へ。いつも言っているように、本校は就職することも大切なことと捉えつつも、就職することを目標とはしていません。学校案内にもあるように「働き続ける」ことを重視しています。その取り組みはもうすでに始まっています。決まったからと安心せず、「就職＝ゴール」とならぬように残りの学校生活をしっかり送って欲しいと思います。

それではよいお年をお迎えください。来年もどうぞよろしく願いいたします。

